

慣用句の 意味を、ア・イ・ウから えらんで ○ を つけましょう。

① あし ぼう 足が棒になる

ア ひみつを、人に ひと はな 話さない。

イ 言 い っては いけない ことを、うっかり 言 い ってしまう。

ウ なが ある た 長く 歩いたり 立ったり して、あし 足が とても つかれる。

② あし ひ 足を引っぱる

ア あつかい方が かた わ 分からず、こまる。

イ ひと 人の じゃまを して、うまく い い かなくする。

ウ なが ある た 長く 歩いたり 立ったり して、あし 足が とても つかれる。

③ あし で 足が出る

ア みんなが、同じ おな い ことを 言う。

イ ひと 人の じゃまを して、うまく い い かなくする。

ウ つか かね ようい かね おお 使った お金 かね が、用意した お金より 多 おほ くなる。

④ くち 口をそろえる

ア どうなるかと、はらはらしながら みまも 見守る。

イ つか かね ようい かね おお 使った お金 かね が、用意した お金より 多 おほ くなる。

ウ みんなが、同じ おな い ことを 言う。

⑤ て あせ 手に汗をにぎる

ア どうなるかと、はらはらしながら みまも 見守る。

イ 言 い っては いけない ことを、うっかり 言 い ってしまう。

ウ ひと てつた 人の しごとを 手 て 伝 つた う。

⑥ て か 手を貸す

ア ひと てつた 人の しごとを 手 て 伝 つた う。

イ ひみつを、人に ひと はな 話さない。

ウ あつかい方が かた わ 分からず、こまる。

